



Y.Hamano

THE KEIO HAI SPRING CUP

第70回 京王杯スプリングカップ (GII)

1着 本賞 59,000,000円 付加賞 854,000円
2着 24,000,000円 244,000円
3着 15,000,000円 122,000円
4着 8,900,000円
5着 5,900,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 57kg、牝馬2kg減、2024.4.27以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.4.26以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

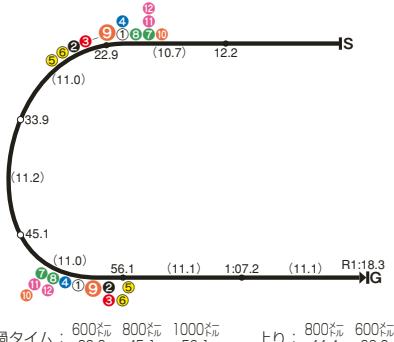
2025.5.3 東京 晴・良 芝1400m (国際) 指定

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム	コーナー (着差)	上り (通過順位 (600m))	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	トウシンマカオ	牡	6	58	横山武史	R1:18.3	5-5	32.6	486(+6)	4.1②	高柳瑞樹(美浦)	116
2	③	ママコチャ	牝	6	56	川田将雅	1½	4-3	33.1	492(±0)	2.9①	池江泰寿(栗東)	109
3	④	ロジリオン	牡	4	57	松山弘平	1	6-7	32.7	496(-2)	6.1③	古賀慎明(美浦)	109
4	⑩	レッドモンレーヴ	牡	6	57	M.ディー	1¼	12-10	32.4	524(+2)	6.5④	蛇名正義(美浦)	107
5	①	シャドウフューリー	牡	5	57	戸崎圭太	1¼	6-6	33.2	486(-4)	10.2⑥	杉山晴紀(栗東)	
6	⑪	トゥラヴェスースラ	牡	10	57	三浦皇成	アタマ	9-10	32.6	482(-2)	119.3⑩	高橋康之(栗東)	
7	⑫	カンテンエンジン	牡	5	57	幸 英明	½	9-8	33.0	484(-8)	14.7⑦	庄野慎志(栗東)	
8	⑥	バレサムノート	牡	5	57	松岡正海	1	2-2	34.1	514(-4)	66.5⑨	高野友和(栗東)	
9	⑤	アサカラキング	牡	5	57	横山和生	½	1-1	34.3	530(-2)	9.7⑤	斎藤 誠(美浦)	
10	②	カルロヴェローチェ	駆	5	57	M.デムーロ	ハナ	3-3	34.0	508(+2)	153.3⑩	須貝尚介(栗東)	
11	⑧	スズハーローム	牡	5	57	菅原明良	2½	8-8	33.5	454(-4)	120.9⑪	牧田和弥(栗東)	
12	⑦	オオハシブルマイ	牡	5	57	津村明秀	クビ	9-10	33.4	462(+4)	220.0⑩	吉村圭司(栗東)	

単勝①410円(2%) 複勝⑨150円(2%) ③130円(1%) ④170円(3%) 枠連③-⑦370円(1%)

馬連③-⑨640円(1%) ワイド③-⑨260円(1%) ④-⑨460円(4%) ③-④340円(2%)

馬單③-⑨1,230円(2%) 3連複③-④-⑨1,220円(1%) 3連単⑨-③-④5,360円(3%)



アラカルト

- 横山武史騎手は京王杯スプリングC初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算25勝目
- 高柳瑞樹調教師は京王杯スプリングC初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算10勝目
- ビッグアーサー産駒はJRA重賞通算8勝目
- 6歳馬の勝利は17年レッドファルクスに続く通算12回目
- 馬単1,230円、3連複1,220円、3連単5,360円は各式別における本競走の最低払戻金額
- 勝ちタイム1:18.3は02年NSTオープンでマグナーテンが記録した1:19.0を更新する3歳以上芝1400mのJRAレコード
- トウシンマカオは安田記念(G I)に優先出走できる

トウシンマカオ *Toshin Macau*

牡 粟毛 2019.5.1生
北海道新ひだか町 服部牧場生産
馬主・株/サトー 美浦・高柳瑞樹厩舎
馬名意味・冠名+地名

サスペンスケイーンUSA系 F4-i

ビッグアーサー 鹿毛 2011	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー
	サクラハゴロモ	
	シャボナUSA 鹿毛 2005	Kingmambo
ユキノマーメイド 栗毛 2003	Relish	
	スペシャルウィーク 黒鹿毛 1995	サンデーサイレンスUSA
	サスペンスケイーンUSA 栗毛 1991	キャンベンガール
		Woodman
		Crystal Cup

5代までのインブリード: Mr.Prospector S 4×M4 Nijinsky M4×M5
Northern Dancer S 5×S 5×M5

INTERVIEW

服部健太郎代表(服部牧場)

これだけの活躍は生産者冥利に尽きます

強い馬たちが相手でしたので最後はハラハラしましたが、あのレコードタイムには驚かされました。これも高柳調教師とスタッフの方々が、この馬の能力を理解して日々努力してくださったお陰だと感謝しています。6歳でこれだけの活躍をしてくれたことは生産者冥利に尽きます。引退後は種牡馬になってくれたらと思っていますので、G1制覇を願っています。

父ビッグアーサー

北海道浦河町 バンブー牧場生産 中央、香15戦8勝(高松宮記念G1、セントウルS G1、京阪杯G2着、北九州記念G2着、阪神C G2着)、18年から供用
〔代表産駒〕トウシンマカオ(本馬)、ビッグシーザー(京阪杯G3、オパールS・L、マーガレットS・L、淀短距離S・L、オーシャンS G3着、函館スプリントS G3着、葵S G3着)、ブントードール(函館2歳S G3、ファンタジーS G3着)、カンチエンジュンガ(阪急杯G3)、ブーケファロス(マーガレットS・L2着)、ウインモナード(ラピスラズリS・L3着)、クリスマーサー(中京2歳S G3)

母ユキノマーメイド

北海道静内町 服部牧場生産 中央31戦4勝(おおぞら特別、駒ケ岳特別)
(10 流産)
シーラナ(11 牝父アドマイヤムーン)中央3戦0勝、地方47戦4勝
ペステンダンク(12 牝父タイキシャトルUSA)中央57戦7勝(都大路S・L、
米子S G1、錦S、舞子特別、マイラーズC G2着)、障害2戦0勝
サンキュー(13 牝父タイキシャトルUSA)中央34戦3勝(RKB賞)、地方19
戦3勝(赤松杯2着、兵庫ウインターC 3着)
ハルカノテソーロ(14 牝父ハービンジャーGB)中央17戦2勝
フラッシュスタイル(15 牝父エインフラッシュ)中央10戦1勝
サクセスファイター(16 牝父ハービンジャーGB)中央9戦1勝
ユキノグローリー(17 牝父ノヴェリストIRE)中央15戦2勝、障害4戦0勝
ユキノフラッシュ(18 牝父エイシングラッシュ)中央16戦2勝

トウシンマカオ 本馬(19 牝父ビッグアーサー)中央22戦8勝(京王杯スプリングC G2、セントウルS G2、オーシャンS G3、京阪杯G2回、オパールS・L、クロッカスS・L、スプリンターズS G1 2着、京王杯2歳S G1 2着、キーンランドC G3着、函館スプリントS G3着)、香1戦0勝
獲得総賞金447,483,000円

ユキノグレース(20 牝父ビッグアーサー)中央4戦0勝、地方10戦0勝
サンエイキャノン(21 牝父パイロUSA)地方26戦5勝(スプリングC 3着)
トウシンバカラ(22 牝父ドレフォンUSA)
トウシンラヴ(23 牝父ビッグアーサー)
(24 牝父ビッグアーサー)

祖母サスペンスケイーンUSA

中央3勝(帆柱山特別)、93年輸入、13年死亡
アチーブフィート(99 牝父トニービンIRE)中央3勝(朝日岳特別)、障害1勝
ユキノマーメイド(03 前出)

JRAレコードで汚名返上の勝利



スプリントとマイルの中間、芝14
00mが舞台に争われる京王杯スプリ
ングCは過去10年間、高松宮記念から
転戦してきた馬が6勝2着3回と圧倒
的な成績を残している。今年の1、2
着を占めたのも、レースの「中心」と
目されていた高松宮記念組の2頭。2
番人気のトウシンマカオ(高松宮記念
4着)が、1番人気の支持を集めた2
年前の最優秀スプリンター・ママコチ
ヤ(同3着)を銳く差し切り、重賞通算
5勝目を挙げた。
近3戦、連続で逃げてきたアサカラ
キンがこの日も好スタートを決めて
飛び出し、主導権を奪取、平均的に速
いラップを刻んで軽快に飛ばす。トウ
番人気のトウシンマカオ(高松宮記念
4着)が、1番人気の支持を集めた2
年前の最優秀スプリンター・ママコチ
ヤ(同3着)を銳く差し切り、重賞通算
5勝目を挙げた。
近3戦、連続で逃げてきたアサカラ
キンがこの日も好スタートを決めて
飛び出し、主導権を奪取、平均的に速
いラップを刻んで軽快に飛ばす。トウ
番人気のトウシンマカオ(高松宮記念
4着)が、1番人気の支持を集めた2
年前の最優秀スプリンター・ママコチ
ヤ(同3着)を銳く差し切り、重賞通算
5勝目を挙げた。

逃げ込みをはかるアサカラキング、
2番手のバルサムノートが並びかけた
直線の坂の上り。ママコチヤも満を持
して追い出しにかかるが、十分な手
応えをキープしたまま、その外へ迫つ
てきたのがトウシンマカオだった。横
山騎手が本格的に追い出すと、馬も一
枚上の決め手を披露。懸命に食い下が
るママコチヤを競り落として先頭へ抜
け出し、最後は1馬身1/2差をつけて
ゴールに飛び込んだ。

同舞台のリストヘッドを勝ち、中京で
も重賞(セントウルS)を制しているも
の、左回りコースでは外に張る面が
あり、本来のリズムで走れないことも
多かった本馬。しかしこの日はそんな
まっしぐらに加速、6着に沈んだ1年
前の汚名返上を果たした。勝ちタイム
の1分18秒3は従来の記録を23年ぶり、
それも一挙に0秒7も更新するJRA
レコード。いつそうの進化を示した6
歳のビッグアーサー産駒は、安田記念
には向かねずひと息入れ、念願のG1
制覇がかかる秋に備える。

シンマカオの横山武史騎手は、4番手
についたママコチヤをすぐ前に見る形
で折り合いに専念し、3番人気の支持
を集めた口ジリオンもその直後を追走。
対してハナ差の2着に惜敗した昨年を
挟み、隔年制覇に挑むレッドモンレー
ヴは“定位位置”ともいえる最後方で末
脚勝負に構えた。